

令和2年度
令和7年度

着 手
計 画 変 更

県営中山間地域総合整備事業

県営土地改良事業計画書

(農道整備)

県 名	岐 阜 県
地 区 名	や さ か
事 業 主 体	岐 阜 県

目 次

第1章	目 的	1	第5章	主要工事計画	14
第2章	地域及び地積	1	第1節	用水施設	14
第1節	地 域	1	第2節	排水施設	14
第2節	地 積	1	第3節	道路及び索道	14
				1. 道路	14
第3章	現 況	2	第6章	附帯工事計画	15
第1節	気象及び海象	2	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	15
	1. 一般気象	2	第8章	環境との調和への配慮	15
	2. 特殊気象	2	第9章	換地計画の概要	15
第2節	土地状況	3	第10章	事業費の総額及び内訳	16
	1. 土地、土壌	3	第11章	効 用	17
	2. 土地利用の状況	4	第12章	関連する事業	17
	3. 土地所有の状況	4	第13章	現況・計画図面	17
第3節	水利状況	5			
第4節	道路現況	5			
	1. 道路概況	5			
	2. 主要道路一覧表	5			
第5節	地域農業の概況	6			
	1. 産業別就業人口	6			
	2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	7			
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	7			
	4. 主要作物作付状況	8			
	5. 農業の動向	9			
第6節	地域環境の概況	9			
第4章	一般計画	10			
第1節	事業計画の要旨	10			
	1. 要 旨	10			
	2. 事業別面積	10			
第2節	営農計画及び土地利用計画	11			
	1. 営農計画の概要	11			
	2. 土地利用区分	11			
	3. 作付方式	11			
	4. 生産計画	12			
第3節	用水計画	13			
第4節	排水計画	13			
第5節	道路計画	13			
	1. 道路及び索道	13			
	2. 路線配置図	13			

第1章 目 的

本地区内の農道は、幅員が狭小であるため、農作業機械の進入及び農産物の搬出入といった機械化農業促進の妨げとなっており、車輛のすれちがいが可能となる拡幅整備が必要とされている。

このため、本事業により農道整備を行い幅員を拡幅することで、農産物、生産資材の輸送効率化、安全性の確保を図るとともに機械化営農の推進による営農労力の節減を実現し、農業経営の安定を目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
農道整備	岐阜県 中津川市 川上	

第2節 地積

(R 2年 1月現在)

R 7年 6月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑		小計	原野	山林	その他			計	備 考						
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)							
農道整備	中津川市	2.5			2.5						2.5	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>田</td> <td>畑</td> </tr> <tr> <td>内 農振農用地</td> <td>2.2</td> <td>-</td> </tr> </table>		田	畑	内 農振農用地	2.2	-
		田	畑															
	内 農振農用地	2.2	-															
	計	2.5			2.5						2.5							

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

第3章 現況 (変更前)

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵那	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	S56年～H22年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(℃)		20.5	5.4	13.0	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,219.0	549.1	1,768.1	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	74	56	130	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	(- 日間)
無霜期間		-	～	-	(- 日間)
最多風向		西南西	最大風速 (風向)	11.4 m/s (南西)	最多風向発生時期 最大風速発生年月
					1月～12月 S54.5.28

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
恵那																	
観測期間																	
S53年～R1年																	
最大日雨量	(mm)	207.0	S58.9.28	1/35	195.0	H1.9.3	1/25	193.0	S51.5.25	1/24	179.0	H12.9.11	1/16	177.0	H23.9.20	1/15	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77.0	H17.8.5		75.0	S63.6.27		61.0	S63.9.25		52.5	H22.8.6		51.0	H1.9.20		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数	(日)																

第3章 現況 (変更後)

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵那	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H3年～R2年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(℃)		20.9	5.7	13.3	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,228.2	577.1	1,805.3	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	72	54	126	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	(- 日間)
無霜期間		-	～	-	(- 日間)
最多風向		南西	最大風速 (風向)	25.2 m/s (南西)	最多風向発生時期 最大風速発生年月
					1月～12月 H29.9.17

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
恵那																	
観測期間																	
S51年～R7年																	
最大日雨量	(mm)	207.0	S58.9.28	1/28	195.0	H1.9.3	1/21	193.0	S51.5.25	1/20	190.0	R5.6.2	1/18	179.0	H12.9.11	1/14	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77.0	H17.8.5		75.0	S63.6.27		66.0	R6.9.12		61.0	S63.9.25		54.0	R5.6.2		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数	(日)																

第2節 土地状況
1. 地形、土壌

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高		備考	
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計	最高 (m)		最低 (m)
		以下	~ 1/100	~ 1/20	~ 1/11.5	~ 以上				8°~10°	10°~15°	8°~15°						
農道整備	面積 (ha)					2.5	2.5									520	440	
	比率 (%)					100	100											

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°~15°の場合8°~10°、10°~15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°~15°。

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備考	
	土 壤 断 面								事 業 名					
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層	堆積様式	母材	農道整備	合計		
					表土 一層	下層土 二層	三層							
灰褐色土壌 マンガン型	黄褐 灰褐	無	無	有	CL	LiC	LiC	無	水積	非固結 水成岩	2.5		2.5	G61
計											2.5		2.5	

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあつては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあつては地力保全事業における土壌統。

(R 2 年 1 月現在)
R 7 年 6 月現在(第 4 表- 3)

2. 土地利用の状況

事業名	土地利用区分 市町村名	耕地						採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の (ha)						
農道整備	中津川市	2.5										2.5	
	計	2.5										2.5	
合計		2.5										2.5	

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

3. 土地所有の状況

(第 4 表- 4)

事業名	区分 所有別	個人有			共有			法人有			計	備考
		所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
農道整備	面積(農地台帳) (ha)	2.5									2.5	この表の面積は、農地台帳による面積です。
	関係戸数 (戸)	3									3	
	筆数 (筆)											
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
	備考(受益者数)	3									3	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路概況

1. 道路概況

ほ場内に接続する路線は、集落道路としても利用されているが、狭小なためすれ違いが困難な状況にある。

(別紙現況道路配置図参照) 注) 地区内及び地区外ともBは全幅 () は有効幅員 (0.1 m単位)。

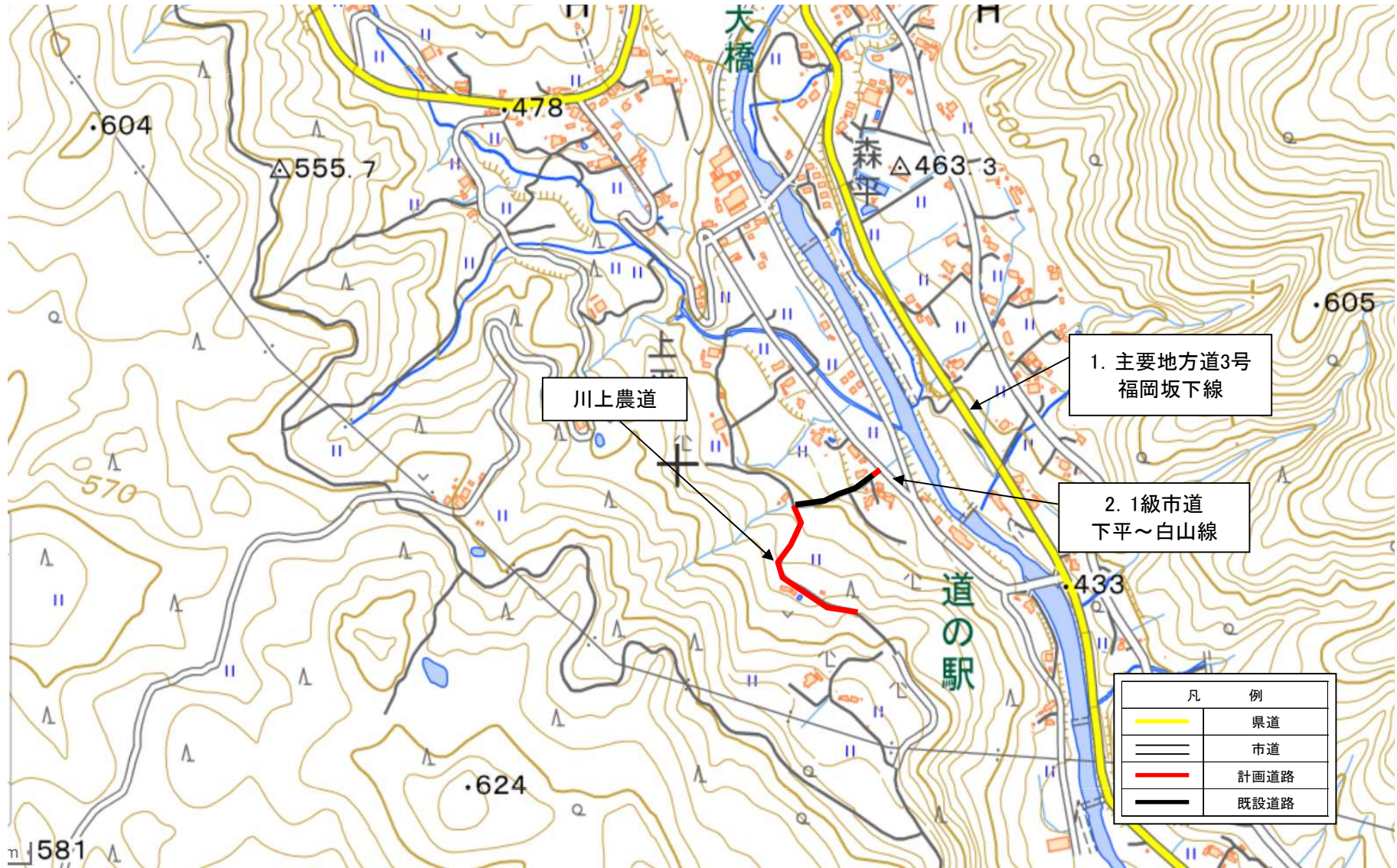
2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (km)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
1	下山～白山線	市	5.2	10.8	6.0	アスファルト	否	

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合 (主要構造物の表も同じ)。
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内での延長。

現況道路配置図



地図出典: 地理院地図 電子国土Web

第5節 地域農業の概況

(R 2年 1月現在)

R 7年 6月現在 (第7表-1)

1. 産業別就業人口

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業 採石業 砂利採取業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸通信業	卸売業 小売業	金融業 保険業	不動産業 物品賃貸業	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
中津川市	(40,093) 38,383	(1,950) 1,616	(197) 181	(6) 3	(28) 30	(3,239) 2,964	(12,593) 12,381	(192) 173	(1,666) 1,547	(5,164) 4,944	(450) 413	(283) 280	(12,081) 11,863	(1,037) 1,000	(1,207) 988	
計	(40,093) 38,383	(1,950) 1,616	(197) 181	(6) 3	(28) 30	(3,239) 2,964	(12,593) 12,381	(192) 173	(1,666) 1,547	(5,164) 4,944	(450) 413	(283) 280	(12,081) 11,863	(1,037) 1,000	(1,207) 988	
比率 (%)	(100) 100	(5) 4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 8	(31) 32	(0) 0	(4) 4	(13) 13	(1) 1	(1) 1	(31) 31	(3) 3	(3) 3	

(参考資料：2015国勢調査 小地域集計(総務省統計局) 第11表 産業(大分類), 男女別15歳以上就業者数 -町丁・字等)

参考資料：2020国勢調査 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第10-3表 男女, 産業(大分類), 職業(大分類)別就業者数(15歳以上)-全国, 都道府県, 市区町村

(R 2年 1月現在)
R 7年 6月現在 (第7表-2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					主副業別農家数(戸)			備 考	
		0.3 ha 未 満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ha 以 上	20.0 ha 以 上	自給的 農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業		副業
中津川市	(5,032) 4,272	(68) 38	(960) 739	(1,067) 724	(229) 174	(69) 60	(34) 27	(22) 21	(15) 10	(4) 4	(8) 11	(2,556) 2,464	(0.65) 0.73	(0.15) 0.17		(0.80) 0.90		(0.80) 0.90	(-) 127	(-) 212	(-) 1,413	
計	(5,032) 4,272	(68) 38	(960) 739	(1,067) 724	(229) 174	(69) 60	(34) 27	(22) 21	(15) 10	(4) 4	(8) 11	(2,556) 2,464	(0.65) 0.73	(0.15) 0.17		(0.80) 0.90		(0.80) 0.90	(-) 127	(-) 212	(-) 1,413	
比 率 (%)	(100) 100	(1) 1	(19) 17	(21) 17	(5) 4	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(52) 59	(81) 81	(19) 19		(100) 100		(100) 100	(-) 7	(-) 12	(-) 81	

※主副業別農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 3経営耕地面積規模別経営体数、第65次東海農林水産統計年報)

参考資料：2020農林業センサス III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、VI総農家等 1総農家数、II 農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数、第71次東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)

(R 2年 1月現在)
R 7年 6月現在 (第7表-3)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン				乳 用 牛		役 肉 牛		豚		採 卵 鶏		
	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
中津川市	(1,550) -	(1,506) -	(2,092) -	(1,951) -	(1,100) -	(1,040) -			(644) 407	(15) 11	(x) x	(86) 65	(3,555) -	(3) -	(7,469) x	(8) 2	
計	(1,550) -	(1,506) -	(2,092) -	(1,951) -	(1,100) -	(1,040) -			(644) 407	(15) 11	(x) x	(86) 65	(3,555) -	(3) -	(7,469) x	(8) 2	
100経営体当数量 (台・頭)	(103) -	(103) -	(107) -	(107) -	(106) -	(106) -			(4,293) 3,700	(x) x	(x) x	(86) 65	(118,500) -	(3) -	(93,363) x	(8) 2	
所有経営体数の割合 (%)	(30) -	(30) -	(39) -	(39) -	(21) -	(21) -			(0.3) 0.3	(1.7) 1.5	(1.7) 1.5	(86) 65	(0.1) -	(3) -	(0.2) 0.0	(8) 2	

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数)

参考資料：2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

(R 2 年 1 月現在)

R 7 年 6 月現在 (第7表-4)

4. 主要作物作付状況

市 町 村 名	中津川市				計	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	(3,960) 3,810				(3,960) 3,810		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
水 稻	(1,390) 1,260				(1,390) 1,260	(35) 33	
六 条 大 麦	(83) 50				(83) 50	(2) 1	
大 豆	(60) 25				(60) 25	(2) 1	
そ ば	(43) 49				(43) 49	(1) 1	
夏 秋 な す	(16) 9				(16) 9	(0) 0	
夏 秋 ト マ ト	(28) 27				(28) 27	(1) 1	
計	(1,620) 1,420				(1,620) 1,420	(41) 37	

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

(参考資料：第65次 東海農林水産統計年報 V耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(8)そば(市町村別)、(15)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量)
 参考資料：第71次 東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)、V農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(8)そば(市町村別)、(18)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

(R 2 年 1 月現在)
R 7 年 6 月現在(第7表-5)

5. 農業の動向 中津川市

項目 区分	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜		動 力 農 機 具		その他	地域指定等	備 考					
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)				農機具名	B	A (現在)		
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	(92) 88	(81) 75	耕地	(97) 98	(95) 95	水稻	(96) 91	(87) 89	乳牛	(x) 68	(x) 43	動力 田植機	(80) 82	(66) -	農振計画 H17.7 特農 H5.9 山振 S47.2 過疎 R3.4 夏秋トマト S41.8 夏秋なす S48.3	A: 令和2年 2020年 農林業センサス B: 平成27年 2015年 農林業センサス C: 平成22年 2010年 農林業センサス	
	主業 農家数	(-) 76	(-) 70	田	(97) 98	(96) 95	麦	(-) 113	(-) 112	肉牛	(x) x	(x) x	乗用型 トラクター	(86) 84	(72) -			
	準主業 農家数	(-) 60	(-) 36	畑	(95) 95	(91) 94	大豆	(83) 86	(65) 31	豚	(x) 116	(x) -	コンバイ ン	(74) 85	(63) -			
	A (H27) R2 (H22) B H27 C (H17) H22	副業的 農家数	(-) 88	(-) 65	樹園地	(-) -	(-) -	夏秋 トマト	(91) 93	(85) 90	採卵鶏	(x) 268	(x) x					
	農業就業 人口	(84) 35	(30) 19				夏秋なす	(80) 94	(80) 82	ブロー ラー	(x) x	(x) x						
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。		・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。		・高齢化、後継者不足および農地面積の減少に伴い減少している。		・高齢化、後継者不足により減少している。 ・秘匿数値のため不明。		※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。									

※主業農家数・準主業農家数・副業的農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

参考資料： 2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、
III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、5年齢階別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、VI 総農家等 1総農家数
第67次 東海農林水産統計年報 V 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(4) 麦類(子実用)(市町村別)、(6) 大豆(市町村別)
(15) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量
2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
III 販売農家 1主副業別農家数、12年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、V 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、
第62次 東海農林水産統計年報 VI 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VII 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(4) 麦類(市町村別)、(12) 大豆(市町村別)、
(13) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量
2010農林業センサス II 農業経営体 12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、
IV 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、V 販売農家 2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)
第57次 東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 1耕地面積、V 農作物の部 1 22年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 水稻、麦類、2 21 年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 大豆、
(4) 野菜 イ指定産地の生産出荷実績

第6節 地域環境の概況

総面積のうち、約8割が森林であり、豊かな自然に囲まれた本市であるが、都市化の進展によりわずかながら森林が減少している。
古来から美林地帯と言われ、ヒノキ、アスナロ、ネズコ、サワラ、コウヤマキの「木曾五木」の産地であったが、近年では天然林が減少し、ヒノキの人工林が多くなっている。希少種であるヒトツバタゴやハナノキの自生地が点在するほか、岐阜県カテゴリーの絶滅危惧Ⅰ類に分類されているクラガリシダ、ミカワシオガマ、サクライソウなどの貴重な植物が数多く存在している。
天然記念物のニホンカモシカや絶滅のおそれのある希少種は、ホンドオコジョ(絶滅危惧Ⅱ類)、ヤマネ(準絶滅危惧種)、フクロウ(準絶滅危惧種)等が生息している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区内の農道は、幅員が狭小であるため、農作業機械の進入及び農産物の搬出入といった機械化農業促進の妨げとなっており、車輛のすれちがいが可能となる拡幅整備が必要とされている。

このため、本事業により農道整備を行い幅員を拡幅することで、農産物、生産資材の輸送効率化、安全性の確保を図るとともに機械化営農の推進による営農労力の節減を実現し、農業経営の安定を目指す。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農 道 整 備														合計
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
拡幅改良	2.5						2.5								2.5
計	2.5						2.5								2.5

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

既存の水田を活用し、水稻主体の生産体制をもとに組織的営農の展開を図りながら、生産の効率化、営農の持続を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)						
農道整備	現況	2.5						2.5					2.5	
	計画	2.5						2.5					2.5	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	2.5						2.5					2.5	
	計画	2.5						2.5					2.5	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加			
農道整備	水田	表作	水稻	(1.3) 1.3	(1.3) 1.3	(-) -	(93) 93	(93) 93	(515) 504	(515) 504	(-) -	(6.7) 6.6	(6.7) 6.6	(-) -	(-) -	(-) -		
			秋冬だいこん	(0.1) 0.1	(0.1) 0.1	(-) -	(7) 7	(7) 7	(2,962) 3,188	(2,962) 3,188	(-) -	(3.0) 3.2	(3.0) 3.2	(-) -	(-) -	(-) -		
		裏作																
	普通畑	春夏作																
		秋冬作																
	計			(1.4) 1.4	(1.4) 1.4	(-) -	(100) 100	(100) 100	/	/	/	(9.7) 9.8	(9.7) 9.8	(-) -	(-) -	(-) -		
	合計			(1.4) 1.4	(1.4) 1.4	(-) -	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第67次～第71次東海農林水産統計年報 中津川市 水稻、秋冬だいこん 収量より算定

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5節 道路計画
 1. 道路及び索道
 (1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効) (m)	×	延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
川上農道		4.0(3.0)	×	372	アスファルト	始点 1級市道(下平~白山線) 終点 その他市道(川上17号)	
計				372			

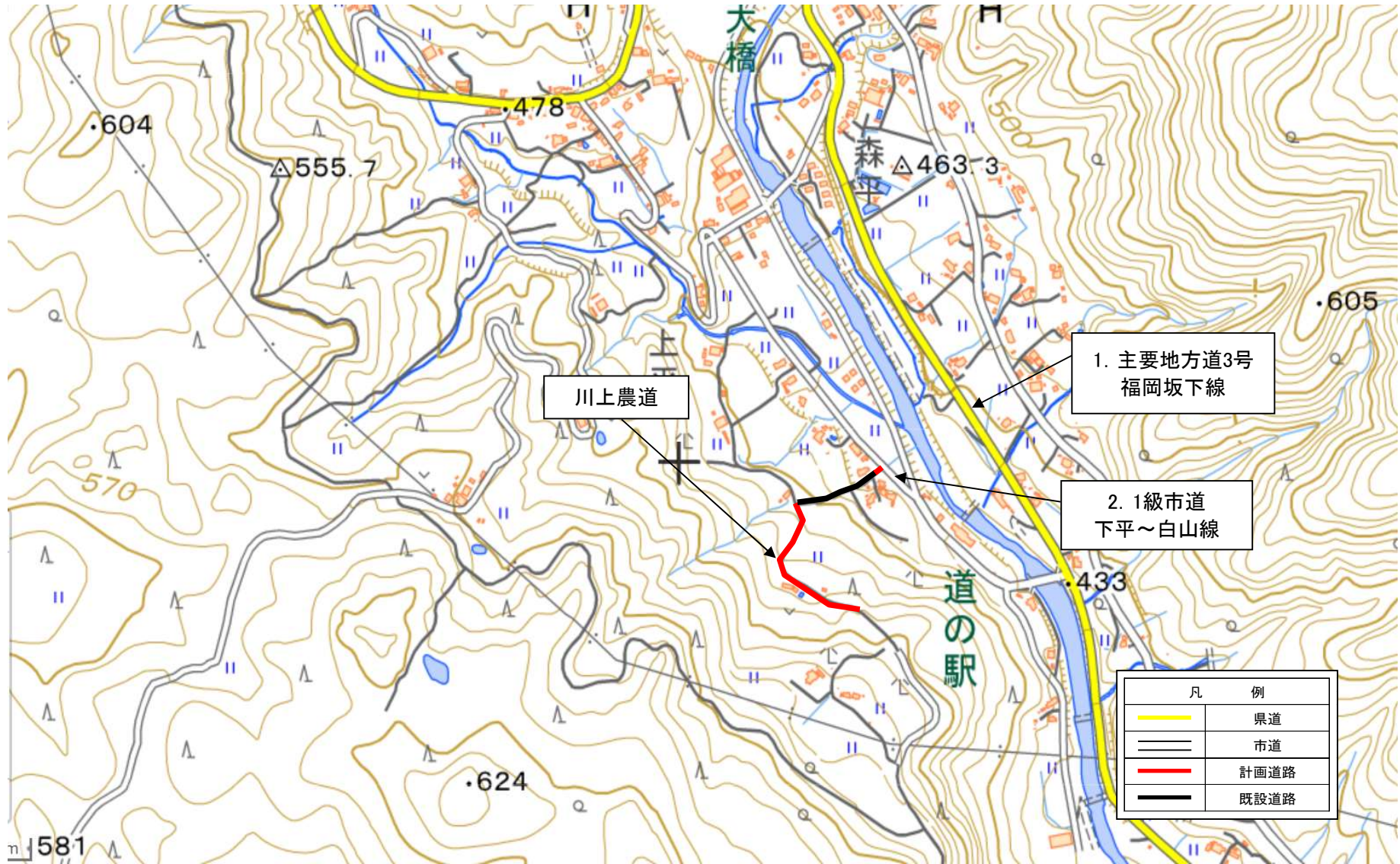
注) 1. 「路線名」欄は地区内、地区外に区分。更に、幹線、支線、耕作(小計)に区分。
 2. 農業事業で規模の大きい「農道橋」を新設、架替える場合及び「農道橋事業」の場合も上記注1で区分。

(2) 索道 該当なし

2. 路線配置図 別紙参照

…………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

計画道路配置図



地図出典: 地理院地図 電子国土Web

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(m) (有効)	延長 (m)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小 曲線半径 (m)	備考
					名称	構造	数量 (箇所)				
地区内	川上農道	4.0(3.0)	× 372	アスファルト	-	-	-	(17) 16	(49) 226		
計			372								

注) 1. 「区分」欄は地区内、地区外、更に幹線、支線の区分。
 2. 「構造」欄は路床改良、舗装厚、材料等、「付帯構造物」欄は暗渠等で道路主要構造物以外。

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期 (令和7年度)
 着工予定 令和2年度 完了予定 令和10年度

2. 工事の年度割予定 単位：千円

年 度	全 体	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
農道	(74,500)	(12,400)	(12,400)	(12,400)	(12,400)	(12,400)	(12,500)	(-)	(-)	(-)
	129,295	-	-	12,935	692	8,832	-	37,216	34,810	34,810
割合 (%)	(100)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(15)	(-)	(-)	(-)
	100	-	-	10	1	7	-	28	27	27

第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮
- ・土工実施に伴う下流水域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。
 - ・整備実施にあたり、水路内での生物生息が顕著に見受けられる場合は、必要に応じ近隣の河川、水路等へ避難させる。
2. 田園環境整備マスタープランとの整合性
- 事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業費の総額 (80,535) 千円
139,552

工事費 (74,500) 千円
129,295

工雑及び
地方事務費 (6,035) 千円
10,257

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
農 道 整 備	372 m		
工 事 費		(46,700) 93,859	
測 量 試 験 費		(15,300) 23,459	
用 地 補 償 費		(12,500) 11,977	
小 計		(74,500) 129,295	
工 事 雑 費		(2,200) 3,613	
地 方 事 務 費		(3,835) 6,644	
合 計		(80,535) 139,552	

第11章 効 用

(第27表)

区分 効果項目	農道整備				
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	
食料の安定供給の確保に関する効果	(1,176) 1,319	(998) 1,071			
農業の持続的発展に関する効果	-	-			
農村の振興に関する効果	(2,585) 7,226	-			
多面的機能の発揮に関する効果	-	-			
その他の効果	-	-			
計	(3,761) 8,545	(998) 1,071			令和7年度単価
総費用	(73,599) 139,659				
総便益額	(78,320) 229,134				
総費用総便益比	(1.06) 1.64				
総所得償還率	-				
増加所得償還率	-				

第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙による